東部地域住民自治協議会 環境保全部会だより 第24号

2022年3月31日発行 東部地域住民自治協議会 環境保全部会 伊賀市緑ヶ丘東町920 上野東部地区市民センター内 TEL・FAX 24—3999

環境講座

「魔法の水・マイエンザ」無料配布







7月26日(月)東部地区市民センターにおいて、午前9時より第1回「魔法の水・マイエンザ」の無料配布を実施しました。 $500 \, \text{m} \ell^{\text{\tiny α}}$ ットボトル $100 \, \text{本}$ ($5 \, \text{\tiny β}$ ケースに分け、説明書添付)です。

まずは、マイエンザ作りから…。7月17日(土)市民センターへ環境保全部会員が集まり、料理教室さながら、お湯を沸かし、材料(三温糖、ドライイースト、納豆、ヨーグルト)を整え、手順通り手際よく作業を進めていきます。納豆は200でわずか10粒くらい、しかも豆ではなくその周りのネバネバ部分をお湯で洗うように混ぜ合わせます。後は温度管理(35℃に保つ)で、ここがポイント。一週間ほどして(500 mℓー本のみ作る場合は24時間)、ペットボトルに詰め分けて完成です。

26 日の配布日には 9 時前から次々と配布を待つ方が訪れ、午前中に 2 ケース、午後に 2 ケース、27 日午前中には 100 本すべて完配となりました。空になったケースを見るのはうれしいものです。環境を守る「マイエンザ」が地域の方の意識に浸透し、使って頂けることは効き目もさることながら、おのずと環境改善の一役を担っていると思います。

ちなみに 11 月 10 日 (水) の第 2 回「魔法の水・マイエンザ」無料配布も 100 本用意しましたが、なんと配布日初日の午前中にすべて完配しました!

環境保全部会は、この事業を継続的に行う予定をしています。人に優しく、環境にもやさしい 安全安心な「マイエンザ」の普及に務めたいと思います。 皆さんも是非一度お試しあれ!

「魔法の水・マイエンザ」

マイエンザは、「環境浄化微生物」として生まれ「ニオイ消し」「汚れ落とし」「鮮度保持」など様々な効果が期待できます。さらにマイエンザが安全、安心と言われている由縁は砂糖(三温糖)、ドライイースト、ヨーグルト、納豆と人が口にしても大丈夫なものを使い、それらを混ぜ合わせ温水(35℃~42℃)を注ぎ、ペットボトル等に入れて24時間保温することにより発酵させ、その後温水と同量の水道水を足すと完成です。台所、洗濯、風呂、トイレ、土壌作り等で使用して頂くと良いそうです。







マイエンザの使用方法

[台所] 原液~10倍希釈

- ・シンクの消臭、ヌメリや水垢の除去 ・換気扇の汚れ落とし ・生ゴミの消臭
- ・食器の汚れや野菜洗い

[洗濯] 原液50ml~100ml

・部屋干しの臭い軽減 ・洗濯機の洗浄

「風呂」 原液

・湯アカ除去、排水管の洗浄、洗面器の汚れ除去など

>P → 1. PA →

1m/ MMA、WMA C UNIT C VLLITT C VLLITT

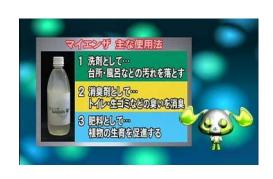
[トイレ] 原液~10倍希釈

- ・使用後の消臭、尿石の除去 ・紙おむつの消臭
- ・汲み取り式トイレの消臭(便槽に原液 2~5L)

[土壌保持・野菜] 500~1000倍希釈 (野菜は1週間に2回ほど散布) [その他] 10倍希釈

・ペットのトイレ、小屋の消臭 ・窓ガラス、鏡 ・花、ぬいぐるみの消臭

◎色んな活用で効果があると期待されますので、環境を良くするために是非お使いください!



「ゴーヤのグリーンカーテン」づくりに挑戦

4年前から取り組んでいる事業で、6月上旬「今年も大きく育って」とに願いつつスタート!ところが長雨が災いしたのか、いっこうに成長せず、どうしたことかと心配していましたが、「魔法の水・マイエンザ」を撒くと、可愛い黄色の花があちこちに咲いて、緑の葉も生き生きとしてきました。恐るべし「マイエンザ」!そしてついには昨年を上回る立派なグリーンカーテンに成長し、ゴーヤも120本も採れました。コロナ禍の中でも、負けない、めげない勇気を産物と共にもらった気がしました。







「正しいマスクの付け方と捨て方」について

風邪やインフルエンザ、また花粉症とマスクがかかせません。さらに、今年も新型コロナウイルス感染症が激増し正しいマスクの「つけ方、捨て方」が求められます。

まず、ホコリ、花粉、ウイルスなど、目的別に素材・機能・形状・サイズを決めます。

素材は大きく分けて「ガーゼ」と「不織布」があり、形状はガーゼタイプが主流の平面的な「平型」、不織布タイプの主流である上下に開いて、口もと広々、呼吸も楽々の「プリーツ型」、顔のラインに沿った「立体型」があります。

くつけ方>

マスクと顔の隙間をつくらないことが重要で、使用中はマスクになるべく触らないこと。 不織布の使い捨てタイプは1日1枚が目安です。

<捨て方>

マスクの外気に当たる面は、ホコリやウイルス等で汚れています。マスクを使い終わったらヒモ部分を持って外し、マスク本体には触らないようにビニール袋に入れ、口を縛って密封してからゴミ箱に捨てます。(環境省) そして、捨てた後はよく手を洗うこともお忘れなく!!





みんなで楽しくクリーンウォーク

第1回・第2回クリーンウォーク(矢谷川周辺) 4月4日(日)、6月6日は中止 第3回クリーンウォーク(緑ヶ丘周辺) 8月1日(日)

8月1日(日)午前7時より緑ヶ丘本町運動遊園に49名(内小学生4名)が集まり第3回クリーンウォークを実施しました。

4 コース(①ささゆり~白鳳高校コース、②東小学校~(株)安永コース、③ひろおか歯科~東部地区市民センターコース、④白鳳高校~名阪側道コース)に分かれ清掃活動を開始!

マスクをしながらの作業はとても息苦しさを感じ、おのずと体温も上昇していくようです。やはりたばこの吸い殻、空き缶、空き瓶、ペットボトルは後を絶ちません。名阪国道の側道は、沿道の草にゴミが絡まり見るも悲しい状況です。

蝉の大合唱に見送られ、8時30分に無事作業は終了しました。本当にありがとうございました。







第4回クリーンウォーク(上野旧町部) 10月3日(日)

第5回・第6回ケリーンウォーク(矢谷川周辺)12月5日(日)、3月6日(日)

冬の冷たい風が木々の葉を落とし、いよいよ師走と言う12月5日(日)午前9時より「くれは水辺公園・秋の広場」に42名(内子供3名)が集まり第5回クリーンウォークを実施しました。

今回は南会長の意向を受け「ホタルが住める川を目指して」のスローガンのもと、ケーブルテレビの取材を受けました。3年前から県による浚渫作業も順調で余分な土や木々はなくなりスッキリした区間はありますが、空き缶、空き瓶、ペットボトル、プラスチック片やシート、ライターなど出るわ、出るわ! 450のゴミ袋 20 袋越す量になりました。

でもいつかきっと、ホタルの飛び交う素敵な川になることを夢見つつ、今後も活動していこうと思います。 ご参加の皆さん、早朝より本当にお疲れ様でした。









さわやかな空気の中で健康づくりに、 地域の人々のふれあいを深めるために、 クリーンウォークに 多数のご参加をお待ちしています!!